



# 炭素繊維応用技術研究会

主催：（公財）科学技術交流財団 共催：あいち産業科学技術総合センター  
協力：愛知工研協会

炭素繊維複合材料は、軽量・高強度といった炭素繊維が持つ基本物性の高さから注目され、各種産業分野での採用が進んでいます。特に、航空機や自動車をはじめ、スポーツ・レジャー用品、圧力容器、風力発電ブレードなどでは需要が増加しており、本格的な拡大期に突入したと言えます。本研究会は、平成20年度より始まりましたが、参加された皆様方からの継続実施の要望が強く、今年度も3回にわたり開催することとしました。多数の皆様方のご参加をお待ちしております。

## 《第2回》

日時：平成28年10月19日（水）

13:30～16:30

場所：ウインクあいち 901大会議室

（愛知県産業労働センター）

名古屋市中村区名駅4-4-38



（JR・地下鉄・名鉄・近鉄）名古屋駅より  
◎JR名古屋駅桜通口から ミッドランドスクエア方面 徒歩5分  
◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分  
※名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを經由 徒歩8分

※平成28年度炭素繊維応用技術研究会に申込済の方  
に限定させていただきます。

## 《プログラム》

13:30～13:35 主催者挨拶

13:35～14:55 「炭素繊維複合材料の技術展開 —航空機用途を中心に—」

講師 東レ株式会社 複合材料研究所 主任研究員 坂田 宏明 氏

炭素繊維強化複合材料（CFRP）は、近年その性能や製造技術が著しく進歩し、スポーツ・自動車用途や航空機用途への展開が拡大している。最近の技術展開、中でも、炭素繊維の高い性能が必須とされる航空機用途向けの展開を中心に紹介する。

14:55～15:10 休憩

15:10～16:30 「CFRP成形へのマイクロ波プロセスの適用化とその特徴」

講師 国立研究開発法人産業技術総合研究所 構造材料研究部門無機複合プラスチックグループ 研究グループ長 堀田 裕司 氏

CFRP にマイクロ波を照射することによって、CFRP 中の炭素繊維が急速に加熱されるため、熱可塑性 CFRP の場合は高速賦形、熱硬化性 CFRP の場合は高速樹脂硬化が期待できる。ここでは、マイクロ波プロセスを CFRP の成形に適用するための因子、照射後の CFRP の特徴について述べ、マイクロ波プロセスの可能性について考える。

16:40～17:30 希望者のみ、15階 研究交流センターにて交流会

